

**区民と練馬区基本構想審議会との意見交換会**  
**概要（確定版）**

日時：平成20年12月6日（土）午前10時～11時50分

会場：勤労福祉会館

出席委員（五十音順）

浅野祐介、岩崎久美子、大杉覚、林真未、若井治子

参加者 19名

**1. 開会**

－会長からあいさつ

**2. 審議会委員紹介**

－事務局から出席委員を紹介

**3. 新基本構想の検討経過**

－事務局から新基本構想の策定、審議会の位置づけ等について説明

**4. 「中間のまとめ」の概要説明**

－委員から説明

**5. 「中間のまとめ」について寄せられた意見の紹介**

－事務局から、12月5日までに7名の方から、11月29日の区政モニター懇談会にて20名の方から「中間のまとめ」に対するご意見をいただいたことを説明し、主な意見を紹介し、委員がコメントした。

※参加者の発言は、区の責任で要旨をまとめたものです。

**■基本となる考え方、地域コミュニティについて**

**○委員**

- ・地域コミュニティというと漠然としているのご意見もあるが、地域コミュニティにおける区と区民の関係を芸能人とマネージャーという関係で捉えると分かりやすいのではないか。区には区民の自由な活動を支えることを期待したい。コミュニティの育成という表現としては格好良いが、現実には地道で手間のかかる仕事である。このことを区民の自主性やボランティア精神だけに頼ることには限界があり、コーディネーターとなる人材に対して適正な報酬を保証するなど支援を行うことにより、コミュニティが作り上げられていくのではないかと考えている。
- ・また、町会・自治会がそのままコミュニティであるという発想ではなく、町会・自治会

や他のコミュニティの機能を活かしながら、21世紀の練馬区にふさわしい新たなコミュニティを作り上げていくとのイメージを持っている。

- ・コンビニエンスストアの充実など経済の発展により、地域コミュニティの手助けがなくとも一人で生活することができるが、防犯、防災に関わる場合や、介護や子育てなどの支援が必要となった場合には、地域コミュニティによる支え合いが求められることから、「中間のまとめ」においても地域コミュニティを重視することとした。

## ■重点軸「みどり」「まちの魅力・活力」「子ども」について

### ○委員

- ・学校教育についてコメントしたい。子育て世帯にとっては、地域に良い学校があるか否かが住む場所を決める要因となる。かつて、千葉県臨海部でのマンションの整備事業では、開発事業者は質の高い学校を設置するなど総合的な開発が行われた。
- ・子どもは地域の将来を担う存在であり、地域に小学校があることは地域の活力や住民にとっての魅力につながる。小学校が地域コミュニティのイメージの中心になると考えている。九州などにおいても、「校区コミュニティ」として小学校を中心にコミュニティづくりを進めている動きがある。
- ・学校教育の制度は硬直的であり、従来は地域との連携に十分取り組むことが難しかったが、近年は杉並区立和田中学校など地域の人材をうまく活用している取り組みも見られている。国においても学校支援地域本部が設置されたが、枠組みを整えたり予算をつけたりするだけでは取り組みが成功するとは言えず、やはり地域におけるキーパーソンや調整役となる人材が必要となる。このためには、地域の方が、どのような人材がキーパーソンとなり得るかを的確に判断して学校に関与していくことが求められる。

### ○参加者

- ・委員の意見の発表時間が長く、質疑応答の時間はなくなってしまうのではないかと。

### ○事務局

- ・議事進行には今後留意したい。
- ・個別事業についてのご意見や、具体的な記述を求めるとご意見が多かったが、個別の事業は長期計画で明らかにし、基本構想では考え方や大まかな方針を示すものである。

## 6. 休憩、質問・意見等の受付

－休憩の間に、質問・意見等がある参加者に質問用の用紙に記入していただいた。

## 7. 質疑応答

### ○参加者

- ・こうした機会に参加できたことをうれしく思うが、区は区民の意見を広く聞いて基本構想を検討しているとは感じられない。
- ・基本構想ではランドデザインが示されると思っていたが、今日の説明では、構想の実現に至る手法の一つとして地域コミュニティが示されたが、ランドデザインはまだ示

されていない。

- ・地域コミュニティに対する考え方は委員のコメントに賛同しており、町会・自治会には限界もある。しかし、地域コミュニティを形成・実現することは大きな課題である。練馬区においても、地域コミュニティ構想について検討されてきたが、いまだに実現していない。学校区などのアイデアも示されているが、地域コミュニティを地域自治に言い換えた方が分かりやすいのではないか。基本構想は地域の人が地域の自治を考えるための構想と捉えるべきではないか。地域の自治を考える上で、学校や保育園、児童館など、子どもを中心としたつながりを重視する必要がある。
- ・本日の議事進行は区側からの説明が中心であるが、より住民の意見を聞き、実態を知ることが求められる。そうでなければ本当の住民自治は実現しない。現在の官僚のやり方は市民の生活や地域の実態をまったく知らないため、さまざまな施策が的外れで混乱を招くばかりである。先日農林水産省の職員アンケートで、6割の職員が現場のことを知らないために自信を持って仕事ができないと回答した一方、管理職の9割が自信を持って仕事をできると答えたという。こうした状況の下、年金や高齢者介護などで齟齬が生じている。これまでのやり方で基本構想を検討しても住民の意見が反映できないのではないか。

#### ○参加者

- ・基本構想では重要な方向性を定めるため、区民の意見は聞くものの最終的な案は審議会委員が策定することとなる。そのため、委員の専門に偏りがあることは問題である。委員の人選について教えていただきたい。
- ・個人的には、今の若い人が練馬区に住み子育てをしたいと思え、高齢者になったときに希望が持てるような基本構想をつくっていただきたい。
- ・ある雑誌には、自宅介護を希望しているにもかかわらず、ケアマネジャーの対応が不十分であるといった状況が示されている。練馬区が若い人も高齢者も温かく受け入れ、他の自治体に比べ住みよい区となるような基本構想をつくっていただきたい。
- ・審議会や区は、現基本構想の達成状況や、区の現状を熟知した上で新基本構想を検討しているのか。

#### ○参加者

- ・本日は質疑の時間を取っていただき、十分に議論できそうだと期待している。
- ・審議会委員が教育分野に詳しいという点で評価したい。一方、区議の中には教育に明るくない区議もいる。本日参加している区議の方にも発言してもらいたい。

#### ○会長

- ・本日が意見交換会の初回であるため、不慣れな点もあった。ただし、行政に不満をぶつけていれば良いというわけではなく、こうした状況を許してきた住民にも責任がある。
- ・基本構想策定に当たり、区民の意見を聞く機会が限られているとの指摘もある。また、個別具体の施策も重要であるが、まずは区民自らが直接関わる場としての地域コミュニティが必要であるとの意見が審議会でも出されている。「中間のまとめ」では地域コミ

ユニティの形成を打ち出しているが、今後、審議会の枠を超えた十分な検討が求められる。

- ・現基本構想の達成状況については、区のホームページに関連資料が掲載されている。個人的には達成率は低いと思っている。どれほど基本構想が立派であっても実現できなければ意味がない。最も重要なのは構想を実現すること、なるべく多くの区民が関わる機会をつくることであり、こうした問題意識から地域コミュニティの考え方が出てきた。
- ・ランドデザインがないとのご意見が寄せられたが、地域コミュニティを形成することこそ非常に重要なランドデザインである。

#### ○参加者

- ・地域コミュニティ形成の実現のためには大きなエネルギーが必要であると思う。
- ・ランドデザインを決めるに当たり、経済状況を考慮することが重要である。各地でダム建設の計画中止や新幹線の新駅整備の中止などが行われているが、すでに巨額の投資が行われ、用地も収用されている。計画は作ったから実現すれば良いというわけではない。ランドデザインの検討は、税金の無駄使いにならないよう、経済状況を踏まえ、確実に実現可能な事項を明らかにするなど慎重に行うべきである。
- ・計画の実効性を担保するためには、財政に加え、住民と行政の態度が重要である。

#### ○参加者

- ・議会では、審議会委員との意見交換の場を設けることを検討していたが、実現に至らなかった。
- ・行政運営では、計画に盛り込まれていない事業が予算に盛り込まれることが多いが、計画的な行政運営のためには、基本構想は重要な役割を担っている。
- ・自治基本条例の検討も行われているが、計画の実効性についても基本構想の中で触れる必要があると考えている。

#### ○委員

- ・住民参加や参画・協働の重要性が認識されつつあるが、どこまで実現されているか疑わしい部分もある。行政評価は行政の立場で実施されているが、住民も評価に関わることで計画の実効性担保につながっていくのではないかと。
- ・若者の立場から言えば、若い世代の区民をこうした取り組みに巻き込むことが必要である。

#### ○委員

- ・私自身は学識経験者の立場でもあり、地方から転入した練馬区民でもある。
- ・練馬区に暮らした経験では、かつて、小学校に牛が連れて来られ、その牛とともに区内の農家を訪れ、その農家で作られた農産物をいただいてあるくオリエンテーションのような企画があった。そのような練馬区主催の企画を通じ、子どもたちと農家を巡り、ふるさとを実感し、練馬区は温かいところという印象を持った。コミュニティという言葉は難しいが、現在検討しているコミュニティが実現してほしいと思っている。

一方で、練馬区は大きな自治体であり、なかなか住民の意見が反映されにくいという限界は感じている。

#### ○委員

- ・今の経済状況を克服するためには、最小限の予算で最大限のアイデアを出すことが求められ、現場のアイデアも重要である。しかし、本審議会では最終的にそこへつながるための大枠を検討することが求められていると思う。
- ・地域コミュニティについては、私は区民懇談会の代表者として審議会に参加し、区民懇談会の総意として、地域コミュニティが必要であるとの意見を述べており、基本構想の策定に当たり区民の意見が反映されていないとは感じていない。

#### ○委員

- ・地域コミュニティの育成は困難かもしれないが、絶対に実現してほしいと思う。以前学校に勤務していたが、小学校を中心に避難拠点運営連絡会を作り上げた経験がある。当初は区主導で行われた取り組みであったが、学校関係者やPTA、高齢者などさまざまな人がつながりを持つきっかけとなった。このように、区が要所で住民自治を支えることが重要である。
- ・練馬区の小学6年生はユニバーサルデザインについて学習する。ユニバーサルデザインは建物のデザインに限らず、地域のあり方も含まれる。地域コミュニティを育成し、さまざまな立場の人が参加できるようにし、また参加しなければならないと思っている。

#### ○会長

- ・質問票に書いていただいたご意見は審議会資料として活用させていただく。
- ・計画の実効性については審議会においても検討したいと考えている。基本構想は区民がコントロールする計画であることを明確にしていきたい。区民の関心が高い事業をリーディングプロジェクトに位置付けるほか、区民が関わる仕組みを整えることなどについて検討していきたい。
- ・練馬区は全国の中でもポテンシャルがある自治体であるが、まだその強みを十分活かしていない。個別の取り組みでは成功しているものの、他分野で成功体験が十分共有されていない。
- ・学識経験者委員には区内在住者が多いが、私は区外在住者として外からの立場で検討したい。
- ・今後、新基本構想についての講演会を開く予定である。
- ・基本構想を作るだけでなく、その運用にも注力する必要がある。今後は情報共有の場が必要である。本日いただいたご意見はできる限り反映しつつ検討を進めたい。

## 8. 閉会

(以上)